

No	10	分類	3-(2)-イ	資料名	町のたから	学年	3・4年	領域	道徳	4-(5)
----	----	----	---------	-----	-------	----	------	----	----	-------

1 ねらい

- 地域の施設や文化などには、先人の思いがこめられていることを知り、それを守ろうとする意欲をもつとともに、地域活動やボランティア活動に積極的に参加しようとする。

2 趣旨

- 近年、ボランティアや地域活動に対する関心が高まっている。共生の心を育むためには、身近な人との出会いを通して自分の地域やそこに住む人々に関心をもち、社会参加への意欲を高めていく必要がある。
- 地域の公園を「町のたから」と言うおじいさんとの出会いから、身近な地域活動に積極的に関わろうとする「わたし」の変化を描いている。心情の変化とともに、具体的な行動にまで発展していることに注目させる。
- 自分たちの住む「地域自慢」になるような施設・文化・産業等について、発展的に学習させることも可能である。

3 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 おじいさんへの「わたし」の気持ちを考える。</p> <p>公園の草を引いているおじいさんを見かけた時、「わたし」はどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までおじいさんはどうしていたのかな。 ・疲れた様子だな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おじいさんを見かけてかけ寄ったことから、おじいさんのことを心配している気持ちに気づかせる。
<p>おじいさんから「公園は町のたからなんだ」と聞いた時、「わたし」はどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園をつくってくれたから、私たちは楽しく遊べる。 ・公園を「町のたから」と思って大切にしてくれてありがとう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園を「町のたから」と言うおじいさんの思いにふれ、わたしの公園に対する思いが変化していることを捉えさせる。
<p>2 友だちと一緒に公園の掃除をするようになった「わたし」の気持ちを考える。</p> <p>「わたし」は、なぜ公園のそうじをするようになったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おじいさんへの感謝の気持ちから。 ・おじいさんの思いを引き継ぎたいから。 ・わたしも人の役に立ちたいから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おじいさんとの出会いを通して、自分自身を見つめ直し、具体的に行動を起こしているわたしの姿に共感させる。
<p>3 ボランティア等の経験を振り返る。</p> <p>ボランティアや地いき活動に参加した時、あなたはどんな気持ちになりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の役に立ててうれしかった。 ・いろいろな人と触れ合って楽しかった。 ・また次回も参加したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア等に次回も参加したいと思った理由を発表させ、その意義を理解させ、今後も積極的に取り組もうとする意欲につなげる。